

出張報告

報告日 令和7（2025）年 5月 20日

会 派 名	公明党
報告者氏名	西川弘美
種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☒ 研修会 ☐ 要請・陳情 ☐ 各種会議
用 務	研修会受講
日 時	令和7年5月7日（水）12:30 ～ 令和7年5月9日（金）12:15
場 所 （会場）	滋賀県大津市唐崎2-13-1（全国市町村国際文化研修所）
調査項目等	市町村議会議員研修「新人議員のための地方自治の基本」
概 要	5月7日 「地方自治の基本」同志社大学 教授 ■■■■■氏 「地方議会制度について」全国市議会議長会企画議事部 ■■■■■氏 5月8日 「地方議会と自治体財政」武庫川女子大学 教授 ■■■■■氏 「条例と政策の審査・立案」「条例立案に関するグループ演習」 元衆議院法制局参事 ■■■■■氏 5月9日 「これからの地方議員に期待されていること」 慶應義塾大学教授 ■■■■■氏
所 感 等	新人議員の研修ということで、まず、地方自治制度の基本、地方議会制度、自治体財政など基本的な事柄について講義いただいた。法律に基づいた広範囲の内容だったが、議員生活2年間を振り返りつつ、制度について理解を深めることができた。 さらに、今回参考となったのが、自治体予算案のチェックポイント、条例について、そして昨今の政治を取り巻く環境と住民への広報のあり方である。 予算案のチェックポイントは、1. 予算全体への視点、2. 健全な財政運営の視点、3. 予算に盛り込まれた政策・事業への視点などをバランス良く議論していくことが重要とし、詳細な視点まで紹介された。今後、審議の中で活かしていきたい。 条例については、条例の種類（性格）や成り立ちなど基本的な事柄を学びつつ、実際に立案するグループワークがあった。現在、当市議会においては一つ

の条例策定作業中で、パブリックコメントを受けた段階であったが、検討・判断する上で大変参考になった。

最後に、昨今の政治を取り巻く環境と住民への広報のあり方であるが、複数の講師がキーワードとして「住民自治」「住民参画」「主権者教育」などをあげていた。日本人は、政治への参画意欲や認識が低いものの、期待水準は高く、不満も多い傾向にある。それを理解した上で、自治体や地方議会・議員は住民の政治への関心を促す役割、効果的に広報を行う責任があり、広報の工夫や継続することの重要性を訴えられていた。私自身、議員となって市民との対話で感じ、広報広聴常任委員としても議会広報や意見交換会を通して感じてきた事である。伝わる広報の工夫として、ネガティビティバイアス、情報の形式、事前信念の把握による対象者別、継続することなどがあげられた。今後の広報広聴機能に活かすために情報共有していきたい。

